

**児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)**

公表： 令和6年2月1日

事業所名 児童発達支援ひだまり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・法令を遵守したスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	5	0	・以前に比べて人数が増え、教材作り等の業務がスムーズになっています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	・子どもの理解に合わせて必要な場合には課題をする部屋や遊ぶ部屋を分ける等空間の構造化をできるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・室内は子どもの注意集中のため不必要な飾り付けはせず必要な情報を取り入れやすいシンプルな環境にしています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	日々のミーティングに加え、月例ミーティングを行い改善に努めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・アンケートの結果を共有して業務改善につなげております。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		・現在は第三者による外部評価は行っておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・障害特性についてや評価法について、また虐待防止などの研修を行っております。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	・計画期間ごとに保護者面談を行いアセスメントを行うことで子どもにとっての解決すべき課題や保護者のニーズを明らかにし職員全員で計画書の会議を行うなかで情報や目標を共有しながら作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	・太田のStageを基にしたアセスメントシートや言語の検査を用い、子どもの認知・言語・対人・運動などの状態を把握できるようにしています	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	・計画書の支援目標欄にガイドラインの項目を記載し、よりガイドラインを意識して目標をたてるようにしております	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	・支援計画書に沿って支援をおこなっております。支援計画書に沿った支援がなされているか児童発達支援管理責任者が定期的にチェックしています	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	・個別支援計画書の会議には職員全員が出席し具体的な案を話し合っている。	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・職員同士で教材や遊び等の情報共有をしたり講習会等に参加したりして子どもの状態にあった内容を考えている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	・子どもの発達や特性、興味のあるもの等を考慮し1人1人にあったプログラムを設定し、見直ししながら進めています	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・午前の療育終了後や閉所後に支援に対しての子どもたちの様子等の振り返りを行い、次の目標や支援内容の改善点、次回の具体的な遊びをどうするか等について話しています	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0		
	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	・サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者もしくは担当の保育士が参画し、普段の様子をよく知り保護者とのやりとりを行っている職員が出席しています	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	・天王寺区の連絡協議会や事業所どうしの連絡に定期的に参加したり、区の子育て支援を担当されている保健師さんや幼稚園・保育園の先生方とも必要な時に連携をとりながら支援を行っています	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	×	×		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	×	×	・現在は医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の子どもが在籍しておりません	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	・ご要望があればお電話やお手紙、実際に幼稚園にうかがう等して普段の様子を教えてくださいたり療育内容をお伝えしたり、情報共有させていただいています	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	・就学に向けて発達検査を実施したり、学校に向けたお手紙や報告書を作ったり、サポートブック作成のお手伝いをしたりしています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	0		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	0	・プログラムとしてのペアレントトレーニングは行っていませんが、かかわりの目的や意図を説明しながら療育を行うようにしています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	・計画書作成時に児童発達支援管理 責任者からご説明をし、その場でご質問があればお答えし、同意と保護者のサインをいただいております。ガイドラインに沿った項目がよりわかりやすいように形式も工夫しております	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	・親子通所で集団療育を行っているため、その時間の保護者様同士がやりとりをできる時間を設けたり連携の機会があったりはしますが保護者会等の活動の開催まではいたっておりません	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		・ブログや会報をもっと周知できるようにしていきたいと思ひます
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	・事業所自体に招待する等はありませんが、地域の清掃や自治会への参加、町会の役員等を行うことで近隣の住民と交流を図り、事業所について知ってもらう機会を作っている。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・避難訓練を行っています。また、年に1度非常用リュックの中身や避難経路の確認を行っています。地域の避難訓練にも参加しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	・初回面談で確認するようにしている。	・状況が変わった時にも素早く対応ができるように定期面談時に確認する。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	0	・医師の指示書はないが、食品の提供は保護者に確認をしてからにしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・月例ミーティング時に情報共有及び具体的対応について定め記録に残している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	5	・就学前の児童しかおらず親子通所の施設であることから身体拘束を行う場面自体がなく、とくに計画への記載や制定等はできておりません	・基本的に身体拘束を行うことがないため記載はしていないが、今後のことも想定して記載するようにはしていきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。